



SSKW

moderato

社会福祉法人藤沢育成会

【モーデラート：中くらいの速さで（音楽用語）】

Vol. 78



【特集】いんくるサマーフェスティバル P2-P5

【30周年記念シリーズ⑥】

■湘南だいち「きりん組」のご紹介 P6

■「Samu's Voice」：理事長コラム P7

■「あっと！」表紙解説 P8

2002年1月23日 第3種郵便物認可（毎月3回45号発行）
2018年9月11日発行 SSKW 増刊通巻4596号2002年4月23日 第3種郵便物認可（毎月3回50号発行）
2018年9月11日発行 SSKW 増刊通巻4596号『あっと！』 日常の中で
見つけたアート

【作品制作：湘南だいち 児童発達支援センター ぶれっじ ばんだ組】

絵具を手に塗って、手形をペタペタ。

手が大きくなるのと同じように成長していく子どもたち。

同じ「手」ですが、それぞれの大きさと形。

目は子どもたちが貼っていて、自然とその子に似ているように見えてしまう。
大切にしたい、1人ひとりの個性。

(湘南だいち 高橋宏明)

※【訂正しお詫び申し上げます】前号（77号）3ページ（誤）信長 健さん→（正）信永 健さん

●編集／いつわ会【(社福) 藤沢育成会 施設利用者家族会】

●〒251-0016 藤沢市弥勒寺2-7-13（湘南あおぞら内）TEL0466-25-5551 FAX0466-25-5556

●責任者／石川 修

●(社福) 藤沢育成会URL ◇ <http://www.f-ikusei.or.jp/>

●発行所 〒157-0073 東京都世田谷区砧6-26-21

●特定非営利法人障害者団体定期刊行物協会

●定価50円

法人設立30周年記念イベント

いんくる サマー フェスティバル

当法人は平成30年11月に法人設立30周年を迎えます。時代にあった【インクルージョン藤沢】の具現化を誓い、設立30周年記念事業を行います。

第一弾として、従来開催していたスポーツ大会に代わる新たな交流イベントとして8月25日（土）法人のご利用者やご家族、地域住民が自由に参加できる「いんくるサマーフェスティバル」を開催しました。

当日は天気にも恵まれ、たくさんの方々が参加され、障がい者スポーツ体験や動物ショー、最後は打ち上げ花火で夜空を飾る活気あふれるイベントとなりました。



打ち上げ 花火!!



ターゲットバードゴルフ



ポッチャ



BSC体操



グラウンドでは、ターゲットバードゴルフとストラックアウトの2種目を行いました。的に当たったり、ボールがネットに入ったりすると「やったー」と大喜び。どちらの競技ともたくさんの来場者でにぎわい、みなさん笑顔で取り組まれていました。

体育館では、ポッチャ、BSC体操、パン食い競争を行いました。パラリンピックの正式種目であるポッチャは初めての方が多いうからなのか、珍しそうに投げている方が多かったです。BSC体操は、音楽に合わせて楽しくリズムに乗って踊りました。湘南だいちのパンによるパン食い競争は、パンをくわえるのに苦戦しながらも、一生懸命頑張っている様子が印象的でした。

法人設立30周年記念イベント
**いんくる
サマー
フェスティバル**

スーパードッグ&モンキーサーカス開演です。愛らしい姿に、笑みがこぼれます。



スーパードッグ&モンキーサーカス!!



マンドリン演奏



音楽セッション♪



湘南ゆうき村でお世話になっている音楽療法士2名による音楽セッションは、観客も一緒に演奏し、にぎやかな時間を過ごしました。



普及啓発ブース

福祉啓発ブースでは、株式会社メディケアさんより福祉用具の展示、横浜トヨペット株式会社さんより福祉車両の展示をしていただきました。
他にも福祉のことを色々知るために、機織りや缶バッヂのワークショップ、各事業所で作った製品の販売、スタンプラリーで各ポイントを巡りながら、障害の体験ができるコーナーを設けました。

縁側事業でもお世話になっているボランティアのバルーンアートではかわいいキャラクターの風船アートもあり大人気でした。



午後クラス

ぶれっじの日中(10:00から14:00)のクラス「ばんだ組」、「うさぎ組」、「こあら組」とは別のクラスです。活動時間は、保育園、幼稚園に通っている子どもでも午後から通えるように14:30から16:30です。行きはご自宅や保育園、幼稚園への送迎があります。帰りは保護者の方ときりん組であったことや一日の出来事など親子で振り返る時間になるようお迎えをお願いしています。定員は各日5名で小集団での活動で一人ひとりに寄り添いながら「集団」でお友だちの真似をするなどの刺激も期待しています。また、お友達同士で相談する場面を設定し、相手に理由を伝える事など、上手な伝え方を練習しています。

9月現在、体験利用の子どもを含めて水曜日は5名、金曜日は4名となっています。

ゲームを通して

活動は、ゲームを通してルールや勝敗の理解などを身につけられるようにしています。例えば、「転がし中当て」の活動では、内と外に分かれて「枠」を意識しながらボールに当たったら外のお友だちを交代というルールでゲームが進みます。「負けても次頑張るぞ!」を合言葉に当たりたくない子どもも当たいたい子どもで「勝敗の理解」を活動のねらいにしています。

「きりん組」を開室しました!

児童発達支援センターぶれっじでは今年4月から新クラス「きりん組」を開室しました!水曜日もしくは金曜日の週に1回のクラスで、社会生活をする上で必要なコミュニケーションスキルを身につけるプログラムを提供しています。「やりとりが一方的になる」、「どのように伝えればいいかわからない」など、「発達に気になるところがある子ども」が対象です。

プログラム内容

「きりんチャレンジ」という、机の上で線つなぎやひらがなの練習など、就学に向けてのプログラムを提供しています。始めの会の中で正しい座り方など活動中の目標をイラストや写真で視覚的に伝え、上手にできたらポイントカードにスタンプを押して褒めます。子どもたちが事前に相談して決めた目標ポイントを帰りの会で確認して達成できいたらプレゼントを渡しています。

「きりんサロン」

月に一度、きりんサロンという保護者サロンがあり、保護者同士の交流や話し合いの場を設けています。現在の悩みや出来ることになってきたこと、就学についてなど様々なお話をされています。

Samu's Voice 15

社会福祉法人藤沢育成会 理事長 石川 修



たかが漫画、されどマンガ

アニメが世界に発信する文化に成長したことは承知していた。テレビ放映だが高畠勲監督の「かぐや姫の物語」を見た。これまでと異なり絵画タッチな映像が動くので不思議な感覚だった。言葉の世界と違い漫画は“これだ!”と言わんばかりに表現されているようで見る側の感情も左右してしまうような気がしていたが、絵画タッチだからふわ~っとした雰囲気を醸し出すところで止めているようで受け止める側の自由度を感じた。それは漫画の世界が表現力を広げているということ…か。

教育テレビで放映された「聲の形」は、原作の漫画で話題になった時から見ていた。読もうと思ったのはヒロインが聴覚障害児なのでどのように表現するのだろうと考えたから。“聞こえない”障害に負けず、けなげに成長する少女の物語だと思っていたが、離婚した母子の暮らしや、不登校、いじめ、障害のある子どもがいることで家族に与える影響などが絡み合ったものだった。ある日、聴覚障害のある小学生の女子が転校してきた時から始まるいじめと障害に対する感情…。その結果いじめの加害者、被害者どちらにも深い傷を残したまま少女は転校。高校生になんでもくすぶつたまま彼らの感情が、映像ゆえの臨場感を醸し出す。失礼だがアニメとか漫画を超えた問題提起…と思った。初めに子どもは障害をどう理解し受容するのか…、次に“いじめ”がもたらす子どもたちの心の傷にどう立ち向かうのか…、そして安定しない家族で成長する子どもの心情…。

漫画とアニメがどう違うかは知らないが、どれもドラマチックで複雑に構成され、考え方を表現していると思った。今夏のテレビドラマは漫画を原作にしたものが多くつ

た。「この世界の片隅に」は、戦時下の小市民の暮らしを描き、実写でよりリアルなタッチになった。戦争の悲惨さと同時に人間模様が映し出され、現代につながるエピソードが次の世代に伝えようとする意図を感じさせた。

「健康で文化的な最低限度の生活」は、憲法論議ではなく現代の暮らしを映し出していた。認知症高齢者の単身生活、貧困家庭での子ども虐待、識字障害、アルコール依存症、倒産・失業による生活保護受給など社会福祉の課題が1話ごとに描き出された。どちらかと言うと漫画・アニメは子どもの世界という印象を持っていたが、どれも社会問題が映し出され難しい課題を真摯に描いていた。

最後に「透明なゆりかご」。毎回出産を取り巻くドラマが描かれていたが、それは社会福祉領域がかかわる課題と繋がっていた。妊娠がすべて喜ばれるものであればおめでたいが現実はそうはいかない。若年出産、貧困、男女間の相克、出産直後の母親の死…どれも深刻だ。支援は求める側の意識と、社会が受け入れられる容量などが影響する。例えば、劇中で妊娠した十代の女性が堕胎手術をする。場に驚く産院看護師見習いの主人公が環境や設備、諸経費などを問い合わせると助産師が“本当はタダでやってあげたいんだけど、それはそれで問題になるでしょう…”とやんわり。正しさだけでは対人援助は出来ない…と言われているようだった。世界に通用する文化として、アニメのキャラクターになりきる稚拙な若者の姿を見るたびに眉間にしわが寄っていたが、質の高い内容に驚いた。そして、描かれた社会問題、社会福祉の課題が現代日本を表していると考えさせられた。

西條節子さんの「ますます華麗に節子の部屋」はお休みいたします。

社会福祉法人
藤沢育成会後援会いづみ

入会のご案内

後援会「いづみ」は、藤沢育成会が進める福祉事業を支援するとともに、藤沢育成会を利用する人と地域の人を結ぶ懸け橋になり、障がいのある人の地域の暮らしや社会参加の実現に向けて、誰もが自分らしく生き生きと暮らすことのできる豊かなまちづくりを目指しています。多くの皆様にご入会いただき、支援の輪を広げていきたいと考えております。皆様のご理解ご協力をおろしくお願いいたします。

○個人会員 年額2,000円から

藤沢育成会の活動に賛同する

一般の市民の方 及び 利用者家族

○団体会員 年額10,000円から

藤沢育成会の活動に賛同する企業・団体

振込先 (郵便局)

口座番号 00240-5-65378

社会福祉法人藤沢育成会後援会いづみ会長西條節子

0466-25-5551 / 0466-28-1488

(社会福祉法人藤沢育成会 担当:事務局石川)